

第5学年国語科学習指導案

日時 平成18年 11月 2日 (木)

児童 5年1組 男12名 女10名 計22名

5年2組 男13名 女 9名 計22名

指導者 1組 青山 武

2組 小原 麻紀

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 ニュース番組作りの現場から (光村図書五年(下)「大地」)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本教材においては「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること(イ)」「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。(オ)」が学年の目標に直結する指導内容となっている。

本教材「ニュース番組づくりの現場から」は、ニュース番組中の特集をどのように作っているのかまとめた文章である。時系列に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議、内容の絞り込み等、制作過程が分かりやすく整理されている。そのため、ニュース番組の作り方の魅力や情報を提供するだけでなく、文章の構成やその要旨に児童が着目しやすい構造をもった説明文になっている。本教材を読み取る活動を行うことで、より効果的に自分の考えを伝え合う経験を積み重ねたり、要旨をより適切にとらえたりするための効果的な読み方を身につけていくことができるものと考えられる。

(2) 児童について

児童はこれまでに、第4学年の「読むこと」において『かむ』ことの力」「アップとルーズで伝える」で、「はじめ」「中」「終わり」という文章構成、段落と段落が結びついてまとまりを構成していることや、それらの相互関係を考え文章全体の姿を読みとる学習をしてきた。また、第5学年になってからは「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習を通して、段落をより適切に要約したり全文の要旨に触れたりすると同時に自分自身の考えを広めたり交流したりする活動を行ってきた。

これらにより児童は、説明文をより構造的にとらえたりまとめたりすることのよさや楽しさを体験してきたが、その一方で学習活動を通してという事実に甘んじるばかりでより自立的にその学習技能を用いるところまでには至っていない。

また、個人差も大きく、言語事項の理解が不十分だったり、集団の前で発言したりすることに不安をもっている児童が見られる。また、話し合う活動については自分の考えを伝えようとする意識が低く、苦手意識をもっている場合が少なくない。

(3) 指導について

本単元では、「ニュース番組づくりの現場から」に書かれた内容が「工夫して発信しよう」の活動のための手引きあるいは解説ともなっているから、より効率的かつ適切に読みとらせなければならない。そのために、音読活動を重視することで児童の内部情報を蓄積させたり、中心文をもとに要点を把握したりする活動を取り入れていく。同時に、既習事項を生かしながら文章の構成を考え

ることを通して基礎的な学習技能の定着を図っていききたい。

また、一人学びでは、既習事項の段落を要約する技能を活用したり、児童それぞれの考えを文章化したりすることで思考をより深めさせる活動を取り入れていききたい。学び合いにおいては、教材文の時系列を追ったり順序を確認することを通して、説明文の構成を理解させたり、筆者の考えの位置づけをより明瞭に気づかせるとともに要旨に迫ることができるようにしたい。

説明文の学習や発表等の活動に自信のない児童に対しては、適時の声かけや当人の学習進度に応じた指名をするなどの教師側からの働きかけを行うと同時に、伝え合う活動の規模を縮小したり拡大させたりしながら友だちとの接点をより多様にもたせることで、満足感をもたらさう学習場面を構成していききたい。

3 単元の目標

(1) 主目標

文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られたかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。

(2) 観点別目標

ニュースを探して伝えることに興味をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。(関)

テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理して要旨をまとめることができる。(読オ)

4 単元の指導計画・評価計画(総時数 7時間)

| 主な学習活動 (時数) | 評価規準(方法) | 具体的評価規準及び指導・支援の手立て | |
|-----------------------------------|---|--|--|
| | | おおむね満足できると判断する視点 | 努力を要する児童への指導・支援の手立て |
| 1 - 教材文を読んで学習の見通しをもつ。 (1) | 関 教材文を読み、感想を話したり学習の見通しをもつ。(発言・ノート・自己評価) | 本文を適切な声量で音読したり、初発の感想を扱う活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 | 新出語句や難語句などにふりがなをつけさせたり、初めて知ったことや驚いたことにサイドラインを引かせるなどの作業を通して学習への抵抗感を緩和する。 |
| 1 - 言語事項の確認をし、学習計画を立てる。 (1) | 言 新出漢字や語句を習得するために辞書等を活用している。 (発言・作業観察) 関 学習計画をもとに見通しをもつことで意欲を深めている。 (発言・ノート) | 調べた語句を適用する活動を通して言語に対する理解を深めることができる。 学習計画の中で意欲的に取り組むことができそうな箇所を見つけることができる。 | 作業量が過多にならないよう作業を分担したりすることでより能動的に活動できるようにする。 自分の考えを小集団の中で発表する活動を取り入れ、模倣的であっても考えをもつことができるようにする。 |
| 2 - 前半部分の形式段落を要約しニュース | 読 話題提示の文をとらえたり、段落の中 | 中心文を選び、主述の関係をを用いて適切に要約する | 中心文の位置や主述を確認することで作業に取り組 |

| | | | |
|---|--|---|---|
| の「特集」が作られていく過程を読み取る。(1) | 心文を適切に把握するとともに「特集」を作る過程を整理することができる。(挙手・発言・ノート) | ことができる。 | むことができるようにする。 |
| 2 - 中盤部分の形式段落を要約しニュースの「特集」が作られていく過程を読み取る。(1) | 読 段落の中心文を適切に把握するとともに「特集」を作る過程を整理することができる。(挙手・発言・ノート) | 中心文を選び、主述の関係をを用いて適切に要約することができる。 | 中心文の位置や主述を確認することで作業に取り組むことができるようにする。 |
| 2 - 後半部分の形式段落を要約しニュースの「特集」が作られていく過程を読み取る。(1) 2組本時 | 読 段落の中心文を適切に把握するとともに「特集」を作る過程を整理することができる。(挙手・発言・ノート) | 中心文を選び、主述の関係をを用いて適切に要約することができる。 | 中心文の位置や主述を確認することで作業に取り組むことができるようにする。 |
| 3 - 文章の構成を検討し、図に表す。(1) | 読・話 段落の構成を検討し、意見を交流しながらより適切に配置することができる。(挙手・発言・ノート) | 段落の構成について自分の意見を持ち、発表している。 | 自分の考えに近い発表や相容れない考えを把握させ、それに対して賛成・反対の立場を明確にさせる。 |
| 3 - 文章の構成を検討して図に表し、説明文の要旨を確認する。(1) 1組本時 | 読・話 段落の構成を検討し、意見を交流しながらより適切に配置すると同時に、筆者の考えをもとに要旨をまとめることができる。(挙手・発言・ノート) | 段落の構成について自分の意見を持ち、発表している。 最終段落から、筆者の考えが書かれた部分を選び出している。 | 自分の考えに近い発表や考えを把握させ、それに対して賛成する立場を明確にさせる。 事実と筆者の考えを区別させることで、中心文を把握させる。 |

5 本時の学習（1組） 7 / 7時間

（1）目標

段落の構成を検討し、意見を交流しながらより適切に配置すると同時に、筆者の考えをもとに要旨をまとめることができる。

（2）仮説との関連

手立て1に関わって

- ・一人学びでは、学び合いの場面における意見交流の活動がより円滑に行われるようにするために、段落相互の関係について書く活動を取り入れ、自分の考えや立場を明確にすることができるようにする。

手立て2に関わって

- ・学び合いでは、全文の構成を理解すると同時に要旨に迫るために、段落を用いた文章構造図を提示しながら話し合い活動を行うことができるようにする。

（3）展開

| 段階 | 学 習 活 動 主発問 ・ 予想される児童の反応 | 教師の支援（評価） |
|-------------|--|---|
| つかむ 2分 | 1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">説明文の構成を読みとろう。</div> | ・活発な意見交換が行われるよう意欲づけを行う。 |
| ふかめる 35分 | 3 課題解決の見通しをもつ。 (1) 学習場面を音読する。 (2) 課題解決のための着眼点を考える。 4 学習課題を解決する。 (1) 一人学びをする。 説明文の構成をより適切に表しているのはどちらの構造図ですか。 (2) 学び合いをする。 ・ Aの構造図が適切である。 ・ Bの構造図が適切である。 | ・構成を再確認するという視点をもたせて全文を通読させる。 ・複数の構造図についてその相違点を確認して絞り込むことで、視点が散漫にならないようにする。 ・より適切な配置の構造図を選択し、自分の意見をまとめる。 ・話型を確認し、結論と論拠を明確にして話すことができるようにする。 ・話し合い活動については極力介入を避け、より自力解決的な方向に向かうようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">おおむね満足できると判断する視点 段落の構成について自分の意見をもち発表しているか。(挙手・発言)</div> 【支援】 ・自分の考えに近い発表や考えを把握さ |

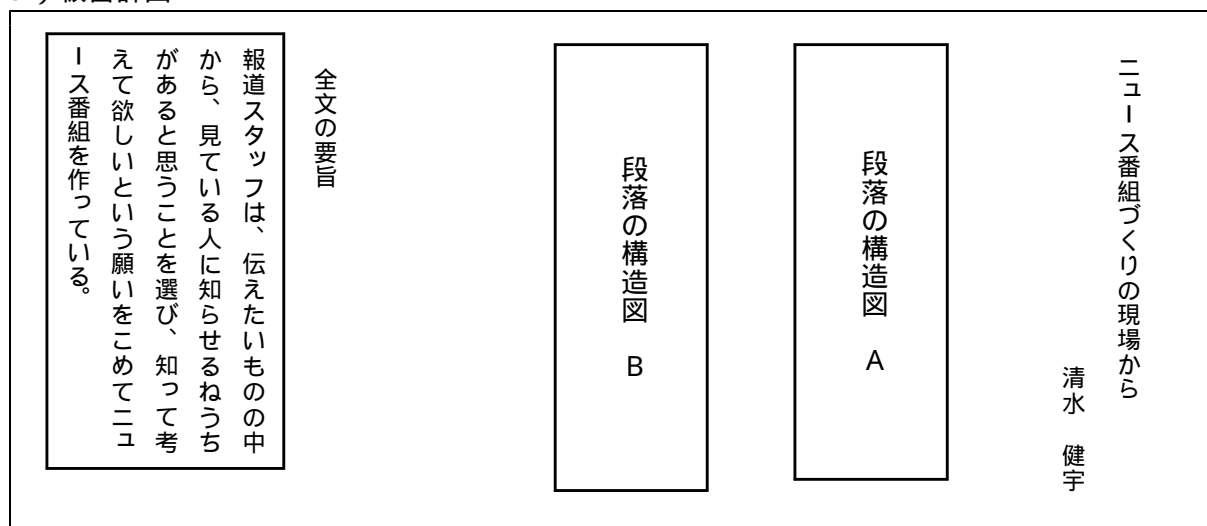
| | | |
|-------------------|--|---|
| | <p>(3) 学びを深める。</p> <p>筆者の考えが表れているのはどの段落ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 段落と 段落です。 <p>段落と 段落で、筆者の考えがより強く表れているのはどちらですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 段落です。 <p>中心文はどこにありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の文です。 | <p>せ、それに対して賛成する立場を明確にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えや説明文のまとめが全体の最後に配置されていることや、話題提示とまとめの相関について確認する。 段落と 段落の比重を確認し、全文の要旨をまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できると判断する視点 最終段落から、筆者の考えが書かれた部分を選び出しているか。(挙手)</p> </div> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事実と筆者の考えを区別させることで、中心文を把握させる。 |
| <p>まとめ 8分</p> | <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) まとめを音読をする。</p> <p>(2) 学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返らせることで、学習の成果を認め、次時以降の学習へ意欲をもつことができるようにする。 |

(4) 評価規準

【読む・書く能力】【話す・聞く能力】

話し合い活動を通して段落相互の関係を適切につかみ、それをもとに全文の要旨をまとめることができる。

(5) 板書計画



5 本時の指導（2組） 5 / 7時間

（1） 目標

番組作りの過程（放送用原稿，放送）で大切な点を読み取り，段落ごとに要約することができる。

（2） 仮説との関連

手立て1に関わって

- ・ 学び合いでは，話し合いの内容を深めるために，ペア学習やグループ学習などを取り入れ，要約文を作るために必要な事柄について，根拠を明らかにして説明できるようにする。

手立て2に関わって

- ・ 番組作りの過程を理解するために，各過程の大切な事柄を表にまとめる活動を取り入れ，番組作りの流れを視覚でとらえさせるようにする。

（3） 展開

| 段階 | 学 習 活 動 主発問 ・ 予想される児童の反応 | 教師の支援（ 評価） |
|-----------|--|---|
| つかむ 3分 | 1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 番組作りの過程をまとめよう。 | ・ 話題設定から編集までの制作過程と大切な点を確認する。 |
| ふかめる | 3 課題解決の見通しをもつ。 （1）学習場面を音読する。 段落を音読する。 （2）課題解決のための着眼点を考える。 段落には，番組作りのどの過程のことが書いてありますか。 ・ 段落は原稿作成です。 ・ 段落は放送です。 4 学習課題を解決する。 （1）一人学びをする。 段落の中心文はどれですか。 （2）学び合いをする。 放送用原稿を書き始めるディレクター。 いよいよ放送される特集。 | ・ 各過程で大切な点やスタッフがしたことに着目して読むことを確認する。 ・ どの段落にどの過程のことが書いてあるかをつかませる。 ・ 中心文 キーワードの順に必要な事柄を選び要約させる。 ・ 要約文から，何文目が中心文として適切か話し合わせる。その際，段落相互の関係や叙述に即して話し合いができるようにさせる。 おおむね満足できると判断する視点 中心文を選び，主述の関係をういて適切に要約することができたか。 （挙手・発言・ノート） 【支援】 ・ 中心文や主述を確認することで，作 |

| | | |
|-----------|---|--|
| 35分 | (2) 事例で大切な点を読み取り, まとめる。 番組作り(原稿作成・放送)で大事なことは何ですか。 | 業に取り組むことができるようにさせる。 ・要約をした後, 事例では番組作りをする上で, どのように工夫しているか読み取り, 表にまとめさせる。 |
| まとめ 7分 | 5 学習のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。 (2) 学習を振り返り, 自己評価する。 6 次時の学習の見通しをもつ。 | ・読み取ったことを振り返りながら音読をさせる。 ・本時の学習について振り返り, 学習の成果を認める。 ・次時は, 報道スタッフの努力や願いについて読み取っていくことを確認する。 |

(4) 評価規準

【読む能力】

番組作りの過程(放送用原稿, 放送)で大切な点を読み取り, 段落ごとに要約することができる。

(5) 板書計画

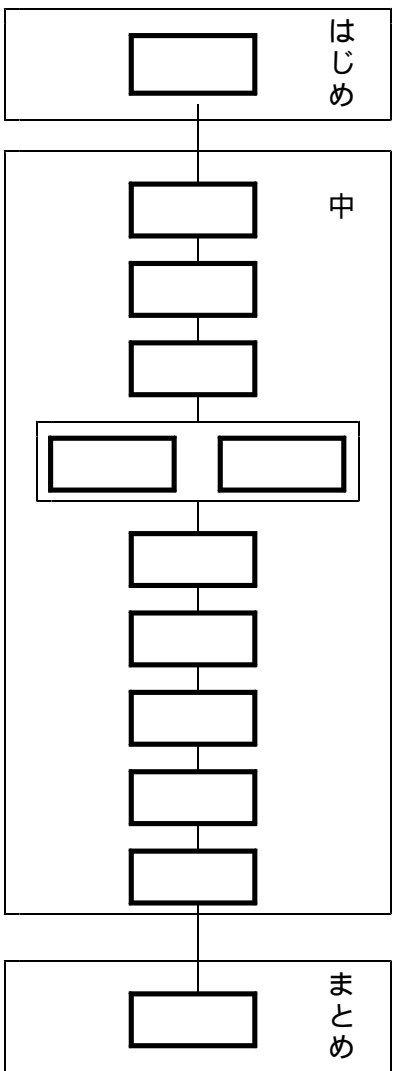
| | | | |
|--|--|--------------|---|
| 放送 | 原稿作成 | 製作過程 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・最も伝えたかったことで結ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ・耳で聞いて分かりやすいように ・一文は短く ・ひと目で分かるように | <p>大事なこと</p> | <p>いよいよ放送される特集。</p> <p>特集 放送されます いよいよ</p> <p>放送用原稿を書き始めるディレクター！</p> <p>ディレクター 書き始めます 放送用原稿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> 番組作りの過程をまとめよう。 </div> <p>課題</p> <p>二ニュース番組作りの現場から</p> <p>清水 健宇</p> |

(6) 教材分析図

要旨

報道スタッフは、伝えたいものの中から、見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、知つて考えて欲しいという願いをこめてニュース番組を作っている。

文章構造図



小見出しおよび形式段落の要点

| | | |
|-----|---|---|
| はじめ | まとめ | 形式段落の要約例 |
| 中 | 特集として取り上げられる防災訓練。(話題提示) 特集が取り上げられるまでの過程。 | ニュース番組で、防災訓練が特集として取り上げられるまでの過程を見てみましょう。 特集として伝えることにしたデスク。 会議を開いたデスク。 取材を始めたディレクター。 防災訓練に踏み切れなかった県の人たち。 噴火に備えた訓練をすることにした県。 再び会議を開いたスタッフ。 始まったさつえい。 編集を始めたディレクター。 放送用原稿を書き始めたディレクター。 いよいよ放送される特集。 |
| まとめ | ニュース番組にこめられた願い。 | 願いをこめて番組を作る報道スタッフ。 |